

芦屋市一般廃棄物処理基本計画（原案）に係る市民意見募集結果

- 1 募集期間：令和3年12月17日（金）から令和4年1月25日（火）まで
 - 2 提出件数：30人／55件
 - 3 提出方法：Eメール23人，郵送0人，FAX6人，窓口持参1人
 - 4 意見の要旨及び市の考え方
- 取扱区分：A（意見を反映）0件，B（実施にあたり考慮）10件，
C（原案に考慮済み）6件，D（説明・回答）39件

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
1	環境処理センター とごみの流れ P10～P11	南芦屋ゴミパイプラインの運営継続を行って欲しい。10年で億単位の費用が掛かると言われてもそれは他のゴミ収集・処理費用と比較して極端に大きいとは考えられない。一般ゴミ収集を有料化するなら便利なパイプライン区間の金額を一般区間より値上げしても良いので「あるもの」は有効活用すべき。	D	パイプラインについては、利用されているみなさまと話し合いを行い、条例で定められている期間、芦屋浜区域は令和20年度、南芦屋浜区域は令和32年度までを限度として使用していきます。なお、本市の案は市民負担を考慮し有料化（ごみ処理料金を上乘せ）ではありません。
2	環境処理センター とごみの流れ P10～P11	分別回収でペットボトルを分けています。市町村によっては分別回収しても最終的には他のゴミと一緒に焼却していると所もあるようです。芦屋市は回収したペットボトルや段ボールをどのように処理しているかを広く市民に広報し、適切に処理していることを広めて、市民の分別意識を高めてほしい。	B	本市ではペットボトルや段ボールは資源として売却しており、焼却はしておりません。そのようなことを含めて継続的に市民の分別意識を高める啓発をしていきます。
3	環境処理センター とごみの流れ P10～P11	リサイクルとして回収された物が正しく再利用されているのか疑問である。只紙類は製紙工場のソーダ回収ボイラ再生されており、アルミや鉄の缶は国内の工場で再生されていると思うが、銑鉄の生産量も減少しており、他はどうなっているのだろうか、回収先の様子も市民に伝える資料を作成し記載されたい。	B	本市で資源ごみの搬入先に直接資源ごみを売却しているケースについては、売却先の協力が前提ですが、今後の啓発で回収先の様子も紹介していきます。
4	生活系ごみの 分別区分 P14	現在の燃やすごみ、燃やさないごみの区分では余りにも大ざっぱで、本市のごみ回収は他市に比べて分別出来ていないと言われます。他市の分別を参考にして分別とリサイクルの見直しが必要だと思います	D	分別とリサイクルの見直しについては、ごみ量、施設の処理能力、収集体制、法律の変更等を踏まえて決定しています。見直しは施設の処理能力が大きく影響しますので、今後施設整備の計画を立てる中で見直しの必要性についても検討していきます。
5	生活系ごみの 分別区分 P14	燃えるごみとして回収されているごみ量を減らすにはもう一度内容物の検討が必要だと思います。①野菜の切れ端、魚の頭や	D	本市は、国の通達に基づいた組成分析（燃やすごみの分析）を行っております。組成分析の結果、本市は紙ごみ

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
		骨、はらわた、肉の骨、卵の殻②お茶殻③包装紙やビニール袋④ダイレクトメールの封筒や中身の一部⑤お菓子箱⑥料理に使用したアルミ箔⑦使用済ホッカホッカ懐炉⑧カッターナイフの切断された刃⑨安全ピンの処分⑩錆びたクリップ⑪インスタントラーメンの蓋⑫切れた豆電球⑬短い電線⑭チョコレートのつつみ紙⑮スーパーで使用したビニール袋⑯段ボールの切れ端⑰工作した木屑⑱ペットボトルの蓋⑲ヨーグルトの空容器⑳枯れた生け花㉑アイスクリームの空箱㉒不要になったCDやDVD㉓それらの壊れた空ケース㉔新聞の切り抜き㉕古靴㉖古着㉗古いカーテン㉘冷蔵庫の中で腐ったもの㉙必要と思いコピーしたが不要の物㉚豆腐のプラスチックケース㉛カレーやおかゆのケース㉜期限の切れたカード類㉝紙パンツ㉞その他色々あると思います。この分析が必要です。		が多いですので、まずは紙のリサイクル推進を重点的に行っていきます。
6	生活系ごみの 収集・運搬体制 P14	家の前が近隣の家のゴミの置き場となっております。カラスの被害が酷くて、ゴミの収集日は収集までに1日に何回も掃除しないと道路が通れません。奥池地区のように各自ボックスに入れてゴミ出しして欲しいです。カラス避けネットはほとんど効果ありません。ルールの見直しをお願いできませんか？	D	ごみステーションについては、地域の実情に応じてごみ出ししていただいています。カラス避けネットの正しい使い方を引き続き啓発していきますので、ごみ出しマナーの徹底など皆様のご協力をお願いします。
7	生活系ごみの 収集・運搬体制 P14	（現状）・毎月1回の「ダストシュート」に入らない燃えるごみの回収 ・毎月2回の「ガラスビン」の回収 回収場所は〈ごみステーション〉設置。（要望）・月2回の「ガラスビン」回収は、月1回の回収で十二分対応できる。ので、月1回の「ダストシュートに入らない燃えるゴミ」を月2回にシフトして欲しい。④「ダストシュートに入らない燃えるゴミ」の内容的にもガラスビンに比べても大きいサイズ物が圧倒的に多い。そのために、一週間したら直ぐにごみステーションから溢れる状態になり、生ゴミを捨てる者がいてカラス被害で困っている。⑤去年・今年と処理センターに申し込みしたが、対応できないとの返答。⑥現場の声が無視。⑦今年4月「内閣総理大臣賞にノミネートされ	D	収集回数については、市全体のごみの量、収集体制を勘案して決定しています。パイプライン地区のその他燃やすごみについては、引き続き、燃やすごみとして捨てることのできるごみ、大きさについて啓発していきます。

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
		たが景観的に不合格となった。		
8	本市のごみ量の推移と前計画の振り返り P16～P19	1位長岡市309(g/人, 日)←1人1日当たり 2位名護市310 3位塩尻市338, …288位 芦屋市543 長岡, 名護, 塩尻等のごみの量が少ない理由はなんのでしょうか? 十分に調査をして, 参考にできるところもあるのではないのでしょうか? ごみ問題は世界的な問題でもあり, 他の国, 他の都市の考え方, 処理の仕方の調査, 研究はされているのでしょうか。	B	ごみについては, 地域特性もあることから, 今回は主に近隣の自治体を調査いたしました。今後も他自治体の取組の調査・研究を進めてまいります。
9	前計画からの見直し P20	<p>•地球温暖化, 海洋プラスチックごみ等, 地球規模での環境問題が顕在化, 深刻化。私の意見〔日本政府は環境問題の深刻化を言っていますが, 神鋼石炭火力の新増設をするなど, いうこととすることが真逆です。一般的に見て, グローバル経済による, 便利さの過度の追求(便宜主義の横行による意味の喪失), 量の過度の追求(大量生産, 大量消費による地球環境の破壊, 個性の破壊, 個人商店の喪失)スピードの過度の追求(忙しすぎることによる生きている意味の喪失), 等の裏側, 自然からの逆襲ではないのでしょうか。ですから, 真の解決にはその逆をすることです。即ち, 便利さの放棄(不便な社会, 物, ことの意味の再生), 量の追求の放棄(そこそこの量で我慢する, 量→質への転換), スピードを求めない(ゆっくり, ゆったり, 時間を楽しむ)ような社会ではないのでしょうか。このような, 成長しない経済, 定常経済ですべての人が満足して幸福な社会を作りあげることでしょう。つくばいにある, 円の真ん中に口を書き, 口を中心に右回りに, 上から吾→唯→足→知と書くのですが, そういう社会かなと思います。さて, そのような社会はどうすれば可能となるのか? プラスチックスについては製造者責任の考え方を導入する。現状は製造者無責任です。プラスチックに安易に頼らない流通が必要です。〕</p> <p>この計画の中の未来の数字, 表の中の目標(芦屋市の将来像(人がつながり, 誰もが輝く笑顔あふれる住宅都市), 基本理念(わたしたち一人ひとりが主役となって, 身近なごみを意識し, 持続可能な循環</p>	D	本計画は芦屋市の総合計画や第3次環境計画の理念に基づいて策定しています。なお, 前計画(平成29年度～)の中間見直しになりますので, 当初より理念に変更はありません。目標値については, 国や県の目標値に基づいて本市の実態も加味し目標としています。

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
		型社会を目指します。)すべて、説明がありません。これでは、単なる押し付けではないでしょうか。きちっと、1つ、1つ説明してほしいです。		
10	施策の具体例(1) 指定ごみ袋の導入 P24～P27	市指定のゴミ袋に過度の期待は禁物である。減量・資源化・分別促進の切り札には成り得ない。まず、市民のゴミに対する意識、関心を高めることが先決かつ重要なことである。	D	これまで家庭ごみハンドブックを各戸配布するなど、分別を徹底していただくために様々な啓発を行ってきましたが、これまで以上に環境意識を向上していただくために、指定ごみ袋の導入を考えており、これをきっかけに説明会を実施するなど周知・啓発を強化していこうと考えています。なお、他の自治体では相当程度の効果が認められています。
11	施策の具体例(1) 指定ごみ袋の導入 P24～P27	指定ごみ袋についてはごみ袋を有料にする様ですが、私はそれがごみ削減にどうつながるかについては疑問です。有料化した他市の数値が示されていますが、結局分別によって燃やすごみが減少するのだと思います。この計画についてはごみ袋の価格と素材が大切です。素材を環境に良いものを使用しても市販のごみ袋と比べて価格が高くなるようにすることが大切です。	D	指定ごみ袋を有料化（ごみ処理料金を上乗せ）した場合は、ごみ袋の料金が高くなるので、ごみ袋の使用枚数を減らすために減量意識が大きく働くといわれています。他の自治体では相当程度の効果が認められています。本市の案については、市民負担や近隣市の状況を考慮し、有料化をしない指定ごみ袋の導入を検討しています。なお、素材については環境に配慮した素材を想定しています。
12	施策の具体例(1) 指定ごみ袋の導入 P24～P27	指定ゴミ袋導入自体が実質ごみ収集の有料化である。低所得層には、ゴミ袋の購入費用が負担となると思われ、指定ゴミ袋の導入意図が理解できない。指定ゴミ袋導入には反対である。	D	本市の燃やすごみの量や分別の実態より、分別の徹底や燃やすごみの減量を進めるため、環境意識の醸成を目的に指定ごみ袋の導入を考えています。なお、指定ごみ袋にごみ処理料金を上乗せする有料化の場合、各家庭で使用する枚数が異なるため、公平性の観点からも有料化を導入している自治体が多いですが、本市の案は市民負担や近隣市の状況を考慮し、有料化をしない指定ごみ袋の導入を検討しています。
13	施策の具体例(1) 指定ごみ袋の導入 P24～P27	導入反対です。現在は買い物でもらうプラ袋を再利用してゴミを出しています。また、口を絞れるタイプのゴミ袋も使用しており、普通の袋タイプは不便に感じます。いくら手数料を上乗せしないといっても、これまで大量に安く購入できていたゴミ袋よりは高価になることは予想	D	本市の燃やすごみの量や分別の実態より、分別の徹底や燃やすごみの減量を進めるため、環境意識の醸成を目的に指定ごみ袋の導入を考えています。なお、本市の指定ごみ袋の仕様は、利便性を考慮し取っ手付きのタイプ(口を絞れるタイプ)で検討して

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
		されます。（神戸市の指定ゴミ袋を見ているので）生活が不便になるだけなので、市民としては今のゴミ制度を変更してほしくありません。		います。
14	施策の具体例（1） 指定ゴミ袋の導入 P24～P27	指定ゴミ袋には断固反対します。無駄な費用で税金を使うことは反対です。	D	本市の燃やすごみの量や分別の実態より、分別の徹底や燃やすごみの減量を進めるため、環境意識の醸成を目的に指定ゴミ袋の導入を考えています。なお、指定ゴミ袋の製造に市費が使われるわけではありません。
15	施策の具体例（1） 指定ゴミ袋の導入 P24～P27	反対です。指定でなければそれなりの安価で自分の好みの分厚さのゴミ袋を手に入れて捨てることができます。指定ゴミ袋を生産する業者との癒着の心配もあります。	D	薄いゴミ袋は安価ですが、破れやすく家庭ごみステーションにごみが散乱するという問題も起こりやすくなります。なお、指定ゴミ袋の生産は、ゴミ袋製造業者が基準を満たすことで市の承認を受けて作成できる申請方式であり、製造業者数に制限はありません。また、ゴミ袋の価格も販売する店舗が設定する市場価格になり、市がゴミ袋の業者と決めるものではありません。
16	施策の具体例（1） 指定ゴミ袋の導入 P24～P27	私の意見〔ごみの①分別の促進、②減量、③ごみ捨てマナー向上の④、⑤、⑥を個別の目導として、1つ、1つ追求したらどうなんでしょうか。指定ゴミ袋使用による意識変化で④⑤⑥を全てやろうというのは間違っています。私はそんな意識変化をさせられたくありません。意識は私自身のものです。指定ゴミ袋導入に反対です。家庭に入ってくるビニール袋をごみ捨てに利用しており、指定袋になれば、結局ごみとして捨ててしまうでしょう。	D	指定ゴミ袋については、環境意識の醸成が第1の目的です。これをきっかけに、環境のことに対する価値観を変えていっていただきたいと思っています。そして説明会や、その他様々な啓発をしていくことによって、分別の促進、ごみ減量、ごみ捨てマナーの向上が進んでいくものと考えています。なお、家に入ってくるビニール袋については、ビン、缶、ペットボトルで使用していただけます。また、国の施策同様、マイバックを推奨しレジ袋の削減をすすめていきます。
17	施策の具体例（1） 指定ゴミ袋の導入 P24～P27	指定ゴミ袋の導入に反対です。・市内スーパーなどで販売とのことですが、芦屋市は狭く、市外で買い物することが多く、不便になること。・カラス被害への対策が練られておらず、透明ゴミ袋によるピカピカ拡大が想定されること。・デザインで個人情報を隠すということですが、デザインにムダな予算を費やすことに意味が感じられませんし、その程度で個人情報を	D	ゴミ袋の販売は各店舗の判断となりますが、市外の大型ホームセンター等には本市からも声をかけます。個人情報にはデザインで隠すのではなく内袋の使用を認める運用を考えています。カラスについてはゴミ袋の色による対策がないことをゴミ袋製造業者に確認しています。なお、プラスチックなど新たな分別をする場合、

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
		隠すのは無理があること。以上が反対理由です。プラスチック分別や紙ごみの異なる分別は必要なことだと思いますが、細かい分別は混乱をきたします。それにより回収されないゴミがあったりすると、近隣トラブルや体被害にも繋がります。計画を実施されるなら、想定される懸念を全て払拭して頂けますようお願いいたします。		混乱が生じないように検討し、実施にあたっては、周知・啓発に努めてまいります。
18	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 P24～P27	私個人でいえば、生ごみは堆肥に。分別は徹底的にしているので、指定ごみ袋導入はごみの増量になります。私のまわりの人8人だけですが意見を聞いたところ、100%反対でした。（個人的にはもやすごみの日は週1でいいです。）パイプライン利用者はどうなるのでしょうか？パイプラインの地区にはカン・ビンなどの分別ボックスをみかけます。他の地区では指定曜日に出さないといけなの。あまりに不公平ではないでしょうか。指定ごみ袋導入はパイプラインが廃止になってからでも遅くないです。パイプライン地区の方の意見を教えてください。	D	生ごみを堆肥化すれば、分別も徹底され素晴らしい取組だと思います。ごみを家庭ごみステーションに捨てる際にみなさまごみ袋を使ってごみを捨てられますので、そのごみ袋を指定するのが指定ごみ袋制度です。環境に配慮した素材を利用する予定です。指定ごみ袋を導入にあたって実施したアンケートの結果では、指定ごみ袋賛同の割合が高いのは、年代では高齢の方、地区別ではパイプライン利用者になります。指定ごみ袋は市民の分別意識の向上を目指すものですので、パイプライン地区にも導入いたします。
19	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 P24～P27	パイプライン収集区域と車両収集区域のコスト負担不平等の説明が不十分なままでの基本計画推進には反対です。平成30年12月21日条例第39号により、パイプライン収集の20年延長が決まっています。将来廃止を決めた、と威張ってはいけません。コスト削減計画は公表されてはいますが、補修無しで20年稼働するのですか？また、その間の車両収集区域との一世帯当たりの負担格差は年間何円になりますか？この不平等性の説明無しで「指定ごみ袋の導入等」には賛成できません。	D	パイプラインについては、利用されているみなさまと話し合いを行い、補修について上限を定め、条例で定められている期間、芦屋浜区域は令和20年度、南芦屋浜区域は令和32年度までを限度として使用してまいります。指定ごみ袋は市民の分別意識の向上を目指すものですので、パイプライン地区にも導入いたします。
20	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 P24～P27	暑い日も寒い日も雨の日も回収して頂き感謝しております。他の市町村と同様に指定のごみ袋を検討されているようですが世界で「プラスチックごみ削減」を推奨しレジ袋やプラスチックスプーン等のゴミを減らそうという流れの中で購入を義務とすることに違和感を感じます。ただ、新しく転居してこられた方や隣接市の方が節度のない捨て方をされているのが多	D	ごみを家庭ごみステーションに捨てる際にみなさまごみ袋を使ってごみを捨てられますので、そのごみ袋を指定するのが指定ごみ袋制度です。世界的な動向を考慮し、環境に配慮した素材を利用する予定です。また、中身が見えなければ隣接の市の方がごみを捨てることができたり、他市町村へのごみ移動を禁止するため

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
		く見受けられるので何らかの対策を講じないととは感じます。		に、他自治体との袋の共通化せず、芦屋市専用の指定ごみ袋を予定しています。
21	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 P24～P27	<p>日頃のごみの清掃にご尽力下さり感謝いたしております。今般頭書の計画を策定されている様子ですが資料を拝読して「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく法定の計画である事により、この法律に基づき地方自治体が計画の策定を義務づけられ、今般基本計画を作成されたことを理解いたしました。では兵庫県南地域の県の方向が不明ですが、芦屋市としてどの方向へ計画されているのか判りました。芦屋市としてまずごみの収納の方法の変更です。これは特定の市町が実施しているごみ袋の指定化です。芦屋市はこれまでの特定の指定袋が無く収納に差しさわりが無ければ自由な入れ物で可能でした。指定袋の採用の理由として芦屋市は分別の現状として異物の混入やリサイクル可能なものが混じっている。ごみの量が他の市と比べて多い。近隣の市は指定ごみ袋を実施しているとの理由でした。その為ごみの内容が分かるものにしたいとのことでした。以前指定以外の物が混入されているごみ袋が見つかるとう黄色い紙が貼られ収納されずにいましたが、最近見かけなくなりました。私は次の理由でこの計画の再検討を求めたいです。①ごみ袋は紙袋であれビニール袋であれ収集に問題がなければ自由にすべきと思います。理由は巷にあふれている不要な袋をごみ出しに活用している為です。もしこれが出来なければこれらの袋類の処分を考えねばならなくなる。また指定の袋代も発生し家計の出費増となる。②廃棄紙類が他市に比べて多い事は市民の文化程度が高い判断すべきと思う。また夫々の市町村でごみの収集方法も異なっている。神戸市では紙類の収集は行っていない、各地域の自治会が集めている。③例えごみ袋を指定しても家庭のごみ量は変わらないと思う。要は入れ物が変わるだけである。④異物の混入は特定の少数の人物が行う行為と思える。</p>	D	紙は資源としてリサイクルできます。紙が燃やすごみとして出る量が多いのが実態ですので、分別を促進していきます。またビニール袋については国の施策同様、マイバックを推奨しレジ袋の削減をすすめていきます。実際焼却炉の停止や灰の搬入停止が生じていますので、変わらないので何もしないのではなく、少しでも1人でも多くの方のごみの分別意識が向上を目指して指定ごみ袋の導入を考えています。

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
		心理学の面より考えて人間の性格は変わらない。ごみ袋を変更しても発生するであろうと思える。自己防衛の方法を検討すべきである。		
22	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 P24～P27	「指定ごみ袋の導入等」には大賛成です。芦屋市は“憧れを、日常に。”をキャッチコピーに市制80年を迎えました。この間、景観や環境に力を入れて高級住宅街の評価を得てきました。ところが、兵庫県で唯一の指定ごみ袋の制度がなく、分別不十分による焼却炉停止まで起こっています。この状態はいわば“高価なブランド衣服で着飾ってはいるが、下着は汚れっ放し”のようなもので、大変恥ずべき事でも憧れを抱かれるものではありません。何を入れても分からない黒いごみ袋を禁止して指定ごみ袋の導入をはかるべきです。	C	分別が不十分で焼却炉の停止まで起こっています。分別が十分と言えない状況ですので、指定ごみ袋の導入により分別の促進を目指します。
23	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 P24～P27	コストコの1箱200枚入りのゴミ袋を使用しています。在庫もあるので指定のゴミ袋に完全に切り替える際は1年以上前に公表していただかないと無駄になり困ります。	C	決定は令和4年6月議会で条例改定の提案を行い、その結果で広報あしやでお知らせします。その後、令和5年4月から試行期間を開始させる予定ですが、本格導入は、その半年後の令和5年10月からを考えています。
24	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 仕様 P24～P27	指定ゴミ袋有料化について賛成します。つきましては少し割高でも環境に優しい材質で他の市より厚手で丈夫な物でお願いします。カラーもゴミ袋にありがちな水色や黒ではなく、落ち着いた美しいカラーにして欲しいです例えば サンドカラーや青磁色、グレーなどで適度な透け感があり、全体に芦屋市のロゴを散りばめて「指定ごみ袋」とかリールの印字は極力目立たなくして欲しいです。ごみ袋と言えどもスタイリッシュな物が欲しいです（探しても売っていない）そして公募デザインの中から投票で決められたら嬉しいです。	C	仕様については厚手で丈夫な物を想定しています。また、デザインについては、景観にも配慮し、市民のみなさまの意見も踏まえて決めていきます。なお、本市の案は市民負担を考慮し有料化（ごみ処理料金を上乘せ）ではありません。
25	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 仕様 P24～P27	2022年4月から指定ゴミ袋制度を導入する西宮市は「燃やすゴミ」用と「その他プラ」用の2種類各3サイズのゴミ袋で対応します。指定ゴミ袋制度の実効性を高めるためには芦屋市も2種類で対応すべきです。	D	本市は、西宮市と違い人口規模が小さいため、袋の種類を多く作ると袋の製造単価が上がってしまうことが考えられます。できるだけ負担を少なく考えた結果、1種類での対応を考えています。

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
26	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 仕様 P24～P27	指定ごみ袋は、西宮市と同様に「燃やすゴミ」と「その他プラ」の2種類に分けると同時に、芦屋と西宮で共同共通化を図り、統一によるスケールメリットで価格を少しでも低く抑えることを考えるべきではないか。	D	本市では、「燃やすごみ」と「その他燃やさないごみ」を対象として指定ごみ袋を使っていたと考えています。また、他市町村へのごみ移動を禁止するために、他自治体との袋の共通化は考えておりません。
27	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 仕様 P24～P27	900×1000×0.04mmタイプのゴミ袋を使用しています。家族人数が多い家庭用に、大型のごみ袋。それも破れにくい低密度ポリエチレン仕様のラインナップをお願いいたします。	D	90ℓは事業用で使われることもありますが、家庭用指定ごみ袋の大きさは、その他燃やさないごみでも袋を利用すること、収集作業員の負担も考慮し、45ℓ、30ℓ、15ℓを想定しています。袋の厚みはコスト、破れにくさを考慮し、高密度ポリエチレンの0.025mmを想定しています。
28	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 仕様 P24～P27	ゴミを処理するのは、市の財政（1袋当たり224円の処理経費）、処理による地球温暖化、さらには限られた最終処分場のスペースという観点からも、まず第一に必要なのは家庭から出るゴミの量を減らす、とうことです。ゴミを減らすためにはどうすれば良いか。一番効果的なのは、ゴミを出すのにお金がかかるようにすることです。各家庭から出るゴミの量を計り、それに見合った額を払わなければいけないようなシステムが必要です。現在提案されているゴミ袋の額では、ゴミにかかる費用が反映されていません。正確にゴミを出すことで、行政・環境にどれだけの費用がかかっているのかを計算の上で、ゴミ袋代にそれらを含めることが必要だと思います。	D	指定ごみ袋にごみ処理料金を乗せる有料化の場合、各家庭で使用する枚数が異なるため、公平性の観点からも有料化を導入されている自治体が多いですが、本市は市民負担や近隣市の状況を考慮し、有料化をしない指定ごみ袋の導入を検討しています。
29	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 仕様 P24～P27	芦屋市が計画中の家庭用ごみ袋について検討に移る。検討の基は神戸市のビニール袋をベースに行う。まず前提は1家庭より出るごみの量は一回45リットルのビニール袋とし、週2回の回収日より月10袋使用されるものとする。芦屋市の袋の前提は厚み0.025tとなっている。神戸市は燃えるごみ袋は0.020tを採用し、その他の用途の物には0.025tを採用している。神戸市の指定袋の価格は店によって差はあるが袋の厚みと販売数により価格差が発生している。又取り手の有る無で価格	D	指定ごみ袋の価格は、主にごみ袋の厚み、大きさ、色の種類で変わります。また、作られる数により製造コスト等が影響します。本市は人口が少ないため、指定ごみ袋の種類を1種類にし、また販売されるごみ袋の外袋への広告等を検討し、コストの低下をはかっていきます。なお、指定ごみ袋は市場価格で販売されますので、本市が製造業者にお金を払うような方法ではありません。また、他市町村へのごみ移動を禁止するために、他

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
		<p>は変動すると思うが神戸市の物には採用されていない。理由は取り手の部分を付けると材料の追加分とその厚み分の材料費増と加工賃の増加考えられる。従って芦屋市の考えている指定ごみ袋の価格は神戸市の燃えないごみ袋の約20円ほど高くなると予想される。従って市民は年間少なくとも2000円程度の出費となろう。今回は市のコミッションを含めてないが、入ればこれ以上の負担となる。指定で独占価格となれば独占禁止法について問題が発生すると思える。もし下名がごみ袋の生産者である場合、例えば神戸市の袋の需要が72万枚、芦屋市の場合42万枚とすると、同じ生産設備で同じ物を制作するコストは芦屋市の場合には設備の償却費は約1.4になる。従って芦屋市に生産量の契約を求め、売れても売れなくても契約金額を芦屋市から支払って貰う契約となろう。丁度芦屋市と阪神水道との水取引と同じ様に引受け契約数量と金額の決定が必要と思う。どうしても指定袋が必要であれば、神戸市のごみ袋を採用すれば良いのではないかと思う。「兵庫のすがた」という県の資料を読むと芦屋市の世帯数42,343、神戸市は722,189であり、使用されるごみ袋の量にも差が見られる。消費数量の差は生産コストに大きく影響する。神戸市の場合ごみの回収指定場所があり「あひるの看板」が立っているが芦屋市の場合以前よりごみが出された位置に集められている。最近カラス除けのためケージを設置している所もあるが、ごみ出しの場所が無いのが問題である（道路が狭いため決められない）。もし芦屋市の特別の指定ごみ袋が設定されると神戸市の袋と芦屋市の袋の市場価格は倍半分になると思える。</p>		自治体との袋の共通化は考えておりません。
30	<p>施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 仕様 P24～P27</p>	<p>今回の計画には、一部自治体においてなされている、ごみ袋に個人名を記述させるか否かについて言及がありませんでしたが、この点についても市民の意見を踏まえ個人情報の保護に十分留意された議論がなされるよう望みます。</p>	D	一部自治体では、氏名の記載方式を採用されていますが、個人情報保護の観点より本市の案は記名式ではありません。
31	<p>施策の具体例（1）</p>	<p>指定ごみ袋の導入にあたってはどの業者</p>	D	指定ごみ袋の製造販売は、市から委

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
	指定ごみ袋の導入 仕様 P24～P27	が製造を受託されるか、途中経過や選定理由等含め透明性の高いプロセスのもとで選定されることを望みます。		託で行うものではありません。販売を希望する事業者が、市の仕様に基づいて製造し、市場価格で販売するものです。承認された事業者については、市のホームページで公開します。
32	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 運用 P24～P27	指定袋を使っていないゴミは、回収しないで放置しておくのですか。	D	本格導入後は、燃やすごみとその他燃やさないごみについては、指定ごみ袋を使っていないゴミは回収しません。
33	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 運用 P24～P27	内袋に任意で選んだ黒色の袋を使用した場合、それは事実上の非分別隠しにつながりかねず、狙いとするゴミの適正排出の大きな妨げになる。このため、内袋の使用は禁止すべきではないのか。	D	指定ごみ袋導入に反対の方の反対理由の中で、個人情報等が気になるというご意見が多かったため、必要最小限の内袋は運用上可能としていきます。
34	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 運用 P24～P27	西宮市の指定ゴミ袋を使って排出されたゴミは、回収されるのですか、放置されるのですか。	D	指定ごみ袋の対象ごみ（燃やすごみ、その他燃やさないごみ）を出す場合、他市の指定ごみ袋は使えませんので、回収しません。
35	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 運用 P24～P27	民間のゴミ袋メーカーが芦屋市と同じスペックのゴミ袋を市より安い価格で市場で供給し、市民がこのゴミ袋を使用して家庭ゴミを排出した場合も、市はこのゴミを回収せずに放置することになるのですか。	D	本市で考えている指定ごみ袋は、市で仕様を決めますが、市では製造や販売、価格の決定を行いません。民間の事業者が市の仕様に基づいて製造し、市場価格で販売されるものです。本市の仕様に基づいていない袋を使用された場合は、回収しません。
36	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 運用 P24～P27	指定ごみ袋について「可視化による意識の変化」とあります。これについて、指定ごみ袋に関するアンケート結果の中に(第5章)、反対意見として「ごみ袋が透明になると個人情報気になる」への対策として、少し着色顔料を入れたり「運用では内袋の使用を認めます」とありますが、引き続き内袋、特に紙袋が仕えると助かります。生ごみの場合は袋のまま入ると臭いが容器についてしまい、紙袋があることでそれを大分防ぐことができ、またごみを出したあとカラスにごみ袋を破られるリスクを減らす効果も見込まれるためです。内袋を認めると中が見えにくくなり分別のチェックや混合の抑止という観点ではマイナスに働く場合もありますが個人情報保護以外にもこういうメリットがあることも念頭において頂ければ幸い	C	紙袋については紙はリサイクルできる資源ですので、資源としてリサイクルいただくことを前提としています。しかし臭い対策やカラス対策の目的もあるようですので、内袋の材質は限定しませんが、最小限必要な範囲で使用していただきますようお願いいたします。

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
		です。		
37	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 運用 P24～P27	ゴミ捨て場におけるカラスの被害が深刻で、ネットなどの対策もあまり意味をなさず、やむを得ず段ボール箱でカバーをした上でネットを被せるといった対策をとっている。今回、ゴミ袋が指定となる事で、この対策が取れなくなるのは非常に困る。カラス対策ができた上で、指定ゴミ袋を採用するよう、お願いしたい。	B	カラス対策として、利用者全体が段ボールの運用をされているごみステーションで、かつ今後も利用者の方々に管理し続けていただけるごみステーションについては、地域の声も聴きながら運用を決めていきます。
38	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 運用 P24～P27	ゴミ集積場がカラスによって荒らされています。指定ごみ袋にするなら、デザインや材質でカラスへの対策はできないでしょうか？ご検討よろしく申し上げます。	B	ごみ袋製造業者に確認しましたが、カラス対策への明らかな効果のある袋はありませんでした。材質やデザインを検討していくにあたり、カラス対策に効果のあるものがないか、さらなる調査を進めてまいります。
39	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 運用 P24～P27	仕事や介護のために朝から出払って日中不在の家庭にとって、カラスは難敵です。鳥害が生じても直ぐには確認も始末もできず近隣の迷惑になってしまいます。鳥害を確実に防ごうと対策に悩まされます。路上の家庭ごみステーションでのこれまでの自衛策：1. 防鳥ネット上から掛けても下から引きずり出されがちで不確実です。下から掛けて上に吊るとほぼ確実ですが吊るための柱などを要します。ネットを回収しないと置き去りになり日中不在の家庭には使いにくいです。2. 内袋併用 内袋を生ゴミだけでなく個人情報ゴミにも掛けようとすると多くの部分に掛けることとなります。カラスに狙われれば外袋は無効です。内袋以外のゴミは散乱することとなります。3. 段ボール外装 ほぼ確実に鳥害を防ぐので、近隣では採用される家庭が増えてきています。路上の共同集積場でできる自衛策で思いつくのは以上です。新しいゴミ処理にあたって段ボール外装を禁止するならば鳥害を確実に防ぐ対策が必要だと思えます。思いつく対策 1. 燃やすごみの個別収集 現状は「原則として、1世帯のみによる家庭ごみステーション新設は受け付けておりません」が、燃やすごみに関しては1世帯のみの個別収集があれば認めるようにする。家庭が敷地や事情に応じて防鳥ネットや防鳥カゴを自ら設置し責任	B	カラス対策へのご提案ありがとうございます。現状、カラス除けネットを適正に使用していただくことでその対策をとっていただいておりますが、段ボール外装で出されている地域もあります。段ボールは資源になるため原則禁止ですが、地域で管理されているごみステーションでかつ地域で管理しつづけていただけるごみステーションについては、地域の声を聴きながら運用を決めていきます。個別収集については、「収集コスト」や「プライバシー」等の課題があることより、本市はステーション方式を採用しています。夜間収集については、「収集コスト」はもちろん「搬入施設運営コスト」もさることながら、夜間収集に伴う時間帯のごみ出しの危険性や夜間のパッカー車運行の音等についての課題もあり、本市には馴染まないと考えています。

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
		<p>もって管理できます。2. 家庭ごみステーションへの防鳥ネットか防鳥カゴを設置路上では難しいと思われます。3. 深夜の収集 福岡市が導入して大好評のようです。鳥目のカラスは活動しがたく、収集作業に防犯効果があるらしいです。検討をお願いします</p>		
40	<p>施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 運用 P24～P27</p>	<p>現在、隣保住民の当番制でゴミ収集後の片づけをしています。ほとんどの方が段ボール利用なので掃除もなく大変楽になりました。以前は、黒ビニールに何重に新聞紙を入れて出していました。カラスが飛び回って荒らし大変でした。私の周囲の戸建て住民でゴミ袋の義務化に賛成する人は一人もいません。皆さんカラスのゴミ荒らしに頭を悩ましてきたからです。段ボール出しが出来なくなるとあのカラスとの戦いがはじまるのかと。ゴミの有料化に反対するつもりはありません。ビニール袋の義務化に反対なのです。段ボール出しの中身に無分別のゴミがあったとは聞きますが、一部の心無い人だと思います。ゴミ掃除をしていて気付きましたが、いくら注意喚起してもビニール袋で無分別の人はおられます。現在。カラス対策でできることと言えば、ゴミステーションでのネットかけぐらいです。これも在宅される方が少ない地域では、限られた方の負担になります。特に高齢化が進む中、出来ない地域もあります。ネットをしても、カラスの被害を100%防げるわけでもありません。芦屋市として、ゴミ袋の義務化を進めるのであれば、カラス対策はどのように考えておられるのでしょうか。具体的、有効な対策が示されておりません。市民がゴミ問題で一番困っているカラス問題を切り離してのごみ袋有料化は、市民感情を全く無視した施策だと思います。カラス対策として他都市で導入されている施策があります。ゴミ収集の夜間収集です。北九州市、相模原市、姫路市などでは夜間収集を実施しています。かなり効果があるようです。カラスが活動を始める前ですからステーションが荒らされることもなく、交通量も少</p>	B	<p>カラス対策へのご提案ありがとうございます。現状、カラス除けネットを適正に使用していただくことでその対策をとっていただいておりますが、段ボール外装で出されている地域もあります。段ボールは資源になるため原則禁止ですが、地域で管理されているごみステーションでかつ地域で管理しつついただけるごみステーションについては、地域の声を聴きながら運用を決めていきます。夜間収集については、「収集コスト」はもちろん「搬入施設運営コスト」もさることながら、夜間収集に伴う時間帯のごみ出しの危険性や夜間のパッカー車運行の音等についての課題もあり、本市には馴染まないと考えています。なお、本市の案は市民負担を考慮し有料化（ごみ処理料金を上乗せ）ではありません。</p>

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
		なく効率よく収集できますし、夜間の防犯にも役立つと聞いています。夜間勤務の方など、早朝のゴミ出しが難しい方にも喜ばれると思います。芦屋市も、住民のガラス被害の不安を解決した後でのゴミ袋有料化を進めて頂きたいと思います。収集方法を変更すると、必ず費用がかさむ予算がないという話が出てきます。ゴミ収集は民間への委託業務だと思うので、検討してみる価値はあると思います。ゴミ収集は、以前は週3回だったのが2回に減り、サービス低下になっています。ゴミの有料化を進めるのであれば、一つぐらい、市民が喜ぶ内容にしてはどうですか。		
41	施策の具体例（1） 指定ゴミ袋の導入 指定ゴミ袋導入に関するアンケート結果 P24～P27	芦屋市 指定ゴミ袋導入等に関する市民アンケート調査結果の「（4）指定ゴミ袋の導入について」において、「賛成」「導入もやむをえない」「有料化（料金上乘せ）指定ゴミ袋でなければ賛成」を含めて「賛同」とカウントしています」との判定方法は恣意的に賛成が多い方に誘導しており、これで賛成が多数という判断とすることは間違っていると思います。「現状のまままでよい」と「指定ゴミ袋が良い」とはっきりと賛否が分かる形式での設問にしなければ、判定はできないと思います。	D	当該設問は現在の状況を示したうえで、指定ゴミ袋を導入するという本市の案に対して市民の意見をお聞きしたものです。反対以外のやむを得ないという意見を含めて賛同としています。
42	施策の具体例（1） 指定ゴミ袋の導入 指定ゴミ袋導入に関するアンケート結果 P24～P27	ゴミ袋指定が賛成多数で支持されたから導入といっても全市民に意見を聞いた訳でもないのに不満。いつの間にか決定されていて納得いかない。家にあるビニール袋をゴミ袋として利用しているのに、今後それが全部ゴミになると思うと資源の無駄。	D	指定ゴミ袋が決定したわけではありません。本市では、指定ゴミ袋の導入にあたり、18歳以上の方2,000人に無作為でアンケートをお願いしたものを資料としています。また今回パブリックコメントを行い市民の意見をお聞きしています。今後は6月に議会に条例案を上程する予定をしています。導入予定時期は令和5年10月ですので、いきなり始まるわけではありません。それまでに家にあるビニール袋をご利用ください。なお、家に入ってくるビニール袋については、ビン、缶、ペットボトルで使用していただけます。また、国の施策同様、マイバックを推奨しレジ袋の削減をすすめていきます。
43	施策の具体例（1）	第5章「指定ゴミ袋を導入すると可視化に	D	記載いただいておりますとおり、さま

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
	指定ごみ袋の導入 指定ごみ袋導入に 関するアンケート 結果 P24～P27	<p>よる意識の変化等によりごみの分別の促進、減量、ごみ捨てマナーの向上の効果がみられます。とあり、その論拠として「指定ごみ袋を導入している他市（兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県の同規模自治体）に行ったアンケートでは、燃やすごみの減量効果だけでなく、分別の改善、ごみ捨てマナーの向上といった効果がみられます。」とあります。しかしそれらのアンケートの結果の一部として表で例示されている自治体はいずれも自治体名が明示されておらず、そのデータの中身や精度について市民から検証が出来ません。行政の国民に対する説明責任に鑑みても、廃棄物処理基本計画の意見募集のページにおいて指定ごみ袋導入等に関するアンケート調査結果が閲覧可能なように、他市に行ったアンケートの項目と回答も閲覧できるようにするべきと思われます。例えば、第4章において、1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(33位/41市町)のグラフがあり、それを見ると指定ごみ袋を導入していても芦屋市より排出量が多い自治体があります。このような自治体において指定ごみ袋の導入がどれだけごみの減量に効果があったか興味がありますし、そもそも回答した自治体の数、その中で効果があったと認めた自治体の数や、認められなかった自治体についても市民に情報を開示すべきと思われます。さまざまな事例を市民一人ひとりが検証することでごみの量を削減し分別を進めるための知恵が生まれるのではないのでしょうか。</p>		<p>さまざまな事例を市民一人ひとりが検証することでごみの量を削減し分別を進めるための知恵を出していただくことはとても大切なことと考えております。しかし他自治体のアンケートについては、自治体名を公表しないことを前提に回答いただいております。各自治体指定ごみ袋の導入時期がまちまちですので、単純な比較はできませんが、作成した資料のとおりのお返事をいただいております。</p>
44	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 指定ごみ袋導入に 関するアンケート 結果 P24～P27	<p>市民95千人の内854件の回答を得たとあるが、統計学上この数値は母集団を表すのかどうか不明である。且つ質問が依頼主に近い答えが出る様な設問が含まれているように感じられる。唯分別に協力している市民の94.3%は信頼できる数値であると思う。</p>	D	<p>18歳以上の方2,000人に無作為でアンケートを954件（47.7%）の回答を得ています。統計学的には一定の回答を得ていると考えています。指定ごみ袋の案については、学識経験者、市民公募の方、自治会の方、商工会の方、兵庫県の方等が入っていただいている芦屋市廃棄物減量等推進審議会に諮りながら策定しています。</p>
45	施策の具体例（1）	指定袋を本格導入する2023年10月から	B	市民意識の向上については、競争を

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
	指定ごみ袋の導入 進め方 P24～P27	半年ないし1年間を「ゴミ排出マナー向上キャンペーン期間」と定め、指定袋の非使用や不適正分別などで回収せずに放置した町単位のゴミ件数のベスト3、ワースト3を3ヵ月毎に公表し、期間終了時に最優秀となった町の自治会には賞品として指定袋を相当数贈呈する。一種の競争心を町単位であおる形で住民の意識向上を図る。		あおるというものではありませんが、ご提案の「ゴミ排出マナー向上キャンペーン期間」と定める等、様々なアイデアを指定ごみ袋導入後も引き続き取り組んでいきます。
46	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 進め方 P24～P27	芦屋市のごみ行政は遅れています。指定袋で見れば県内A市は20年も前に導入しています。こうした遅れが市民1人当たりのごみ排出量が県下で2番目に多く、水銀電池を燃やすごみに出してしまう不適切分別になって表れているのだと思います。行政、議会そして市民のごみに対する問題意識、関心の低さに起因しているのでしょうか。こうした状況下で指定ごみ袋制度をスタートさせる前途は決して容易なものではないと思います。行政は市民に対して嫌われ役を買って出るぐらいの覚悟で口を酸っぱくして啓蒙、指導しないと、ごみの減量、適切分別は進まないと思います。	C	指定ごみ袋導入は一つのきっかけですので、今後も引き続き啓発等を行い、減量、適切分別をすすめていきます。
47	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 進め方 P24～P27	指定袋の効果。導入済み8市が市民意識の向上を調べた結果は「改善した」が6割強、「分からない」が4割弱だった。「減量だけでなく様々な効果がみられる」とする芦屋市の分析、認識は甘い。8市のアンケート結果に対する芦屋市の認識は甘い。なぜなら、指定袋導入から10年経つH市は市民の分別に関する意識について「まったく改善しなかった」と回答している。つまり、何よりも大事なのは、指定袋の導入ではなく、指定袋導入の前に市が行うべき市民の意識改革に繋がる啓蒙活動、周知徹底、教育的指導、いや指導的教育なのである。指定袋導入に際し市は家庭ゴミ排出に係る市民のゴミ減量、適正分別、マナー向上に効果ある意識改革をもたらすための啓蒙活動、周知徹底、指導、教育についてどう考え、どう実行するのか。	D	指定ごみ袋は、市民の皆様の環境意識の醸成を目的に導入を考えており、これをきっかけに説明会を実施するなど今まで以上に周知・啓発を強化していこうと考えています。
48	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 進め方	ごみ袋有料化はごみの削減と分別化になるので私個人としては賛成です。しかし、若い世代の人は反対する人が多いと予想	C	指定ごみ袋本格運用開始（令和5年10月）までの間に説明会を開催し、啓発を行います。本格導入後も引き

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
	P24～P27	されます。芦屋市が少子高齢化にすすんでいる今、明石市の様に若い人が住みたいと思う町になってほしいと思います。その為にも教育、保育に財源が多くあてられる為にも、各人のごみ処理（量の削減、分別化等）の意識を高めるアピールも必要と思います。学校や地域の集会所で啓蒙運動をしてほしい。		続き市の広報等で啓発を続けていきます。
49	施策の具体例（1） 指定ごみ袋の導入 進め方 P24～P27	ごみ問題は、市民的議論が必要だと思います。ごみ袋の指定制にしても行政が市民の間にこの問題を持ち込んで、市内各地で車座になり意見を聞くが必要だと思います。なぜ指定ごみ袋が必要なのか、ごみの減量化にはどう寄与するのか、住民の役割は、など論議の中で指定制の問題だけに限らず住民のごみに対する意識を高めていくことをぜひやっていただきたいと思います。	B	指定ごみ袋導入をきっかけに市内で説明会も行いながら、住民のごみに対する意識を高めていきます。
50	施策の具体例（2） 紙ごみの資源化 P28	今回燃やすごみの中で紙ごみの資源化との計画ですが、本市では新聞、段ボール、雑誌と燃やすごみの区分となっており、チラシなどの紙の扱いが不明確で、燃やすごみにも多くが含まれていると考えられます。今回そこを具体化しようとしているのだと思いますが、分別して回収するのだと思いますが、新聞、段ボール、雑誌はこれまで通りで、その他の紙ごみを別に回収するのだとすればいろいろなサイズの紙をごみ袋に入れて出すようになるのでしょうか。かなり具体的に説明しないとスムーズに回収出来ないと思います。	D	チラシやその他の紙ごみ（雑がみ等）については、これまでも家庭ごみハンドブックなどで分別をお願いしているところですが、今まで以上に周知・啓発を強化していこうと考えています。出し方については、ひもで縛っていただくか、紙袋に入れていただき、ごみの減量と資源の有効活用のために紙資源として再生資源集団回収、または、行政回収に出していただくようお願いしています。
51	施策の具体例（3） リサイクルの推進 P28	財源が少ない由にアイデアで町おこしている所があります。徳島県上勝町のゼロウェイスト運動、鹿児島県大崎町のリサイクル等のアイデアを参考にしてはどうですか。	B	ごみ排出の減量化に向けて他自治体のごみ対策やアイデアも参考に、様々な取組を行っていきます。
52	施策の具体例（3） リサイクルの推進 P28	環境処理センターの皆様、日々快適な生活を送れているのは、センターのおかげだと感じています。特に埋立地の住民にとってセンターは建物が見えますし、日常景観になってます。今回初めてパブコメいたします。地球環境を改善することは待ったなしの喫緊の課題であり、一市	D	記載いただいているとおり地球環境を改善することは待ったなしの喫緊の課題です。本市も平成16年度までコンポストの補助を行っていました。残念ながら市内で庭のあるご家庭が限られていること、堆肥の利用先がないことなどより補助自体は廃

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
		<p>民としてただちにごみ問題に取り組まないといけないと思います。生産側と消費側の問題はあるが、今回は消費側からのみ提案します。「2一般…基本計画」ごみの量を減らす・重さ=生ごみ処理をダンボールコンポスト・庭のある家はコンポスト導入を推進してはどうですか？補助金又は現物支給（生ごみ処理促進剤）我家は2人暮らしですが、ダンボールコンポストを使用、2回/年の交換、処理物は堆肥としてプランターで花や家庭菜園で利用しています。ダストシュートには1/w程度投入するごみしか出ません。（紙・ダンボール・ビン・缶はリサイクルコーナーへ）市内のオープンガーデンや公園・プランターへ堆肥提供できることも考えられませんか？堆肥回収の日を作ってもらって環境処理センターで一括堆肥づくり（街路の落葉・枝なども混ぜれば良いリサイクルになる）を提案したい。希望あれば堆肥をわけてあげる（学校給食の生ごみ残ばん処理もコンポストはキャパオーバーなので電化製品で処理し、もやさないようにすればかなりごみ量は減ると思います。これを軌道にのせるにはかなりの力を投入して市民けいもうしないとダメですが…</p>		止になりましたが、様々なごみの減量の取組をすすめていきます。
53	<p>施策の具体例（7） プラスチックの 分別検討 P30</p>	<p>プラスチックの分別も計画されていますが、これも大小色々なサイズがあり回収の仕方を説明していただきたいと思います。</p>	D	<p>プラスチックごみは、容器包装プラスチック（ペットボトルのラベル等）と製品プラスチック（子供のおもちゃ、風呂おけ等）があり、国、民間処理施設の動向、施設の処理能力等を踏まえ施設整備にあわせて取扱いを検討していきます。プラスチックごみの分別収集が決まりましたら、分別の方法等を説明してまいります。</p>
54	<p>施策の具体例（7） プラスチックの 分別検討 P30</p>	<p>燃やすとCO2を排出するプラスチックごみをいかに減らすかがごみ問題の課題の一つです。「未来を担う世代により良い環境を残していける」ことを大きな目標とすることに賛成ですがそのために何をするかということは、もう時間の余裕がなくなっていると感じています。廃プラスチック対策の一番は、生産段階から減らすことだと思います。そこはこの計</p>	D	<p>記載いただいているとおり燃やすとCO2を排出するプラスチックごみをいかに減らすかがごみ問題の課題の一つです。プラスチックごみは、容器包装プラスチック（ペットボトルのラベル等）と製品プラスチック（おもちゃ、風呂おけ等）があり、国、民間処理施設の動向、施設の処理能力等を踏まえ、施設整備に合わせて取</p>

No.	計画書 該当場所	市民からの意見（全文）	取扱 区分	市の考え方
		<p>画では難しいことでしょうか、市民がごみになるものを買わない、使わない、出さない、分別を徹底するなど市民意識・取組の向上にたいしては市としてできることがあると考えます。そのことに踏み込んだごみ対策を求めます。プラスチックは燃やせばCO₂を出します。「2050年カーボンゼロ」を宣言した芦屋市として、焼却場建て替えを機に、プラスチックを燃やさない自治体をめざしてはどうでしょうか。そのためには分別をすることはもちろん、「買わない、使わない、出さない」へと向かうことだと思います。もちろん現在はプラスチックが少しでも入っている製品を使わずに生きていくことはできません。しかし、空気も海洋も悲鳴を上げているわけですから、未来を担う世代が地球ですこやかに生きていけるようにプラスチックごみ問題の解決が求められていると思います。「国際文化住宅都市」たる気概を、市長には是非見せていただきたいと思います。</p>		<p>扱いを検討していきます。また、ごみの減量化、3Rについても啓発していきます。</p>
55	<p>施策の具体例（7） プラスチックの 分別検討 P30</p>	<p>リサイクルされる物は自治会でも回収しており①新聞紙②段ボール③チラシ④古紙⑤古本⑥再利用できる衣服となっている。勿論⑥を除き市でも月一回回収されている。硬質ビニールと軟質ビニールの区分をはっきり決めペットボトルの回収だけでなく別の回収方法を検討されたら良いのではないかと。</p>	D	<p>プラスチックごみは、容器包装プラスチック（ペットボトルのラベル等）と製品プラスチック（おもちゃ、風呂おけ等）があり、国、民間処理施設の動向、施設の処理能力等を踏まえ施設整備にあわせて取扱いを検討していきます。</p>